

疫学研究とは、病気にかかることの頻度や病気の多さを調べて、その原因を明らかにする研究です。私たちは過去のカルテより得られた情報を利用して、現在まで行われた病気の診断・治療の評価を行い、より良い診断・治療法を確立し患者さんに還元できるように、下記の疫学研究を行っています。下記の疫学研究は、兵庫県立尼崎総合医療センター倫理委員会の承認を得た後、研究責任者の管轄のもとに行われます。当院にすでに記録されている臨床情報をもとに行われるため、対象となる患者さんに新たにご負担をおかけすることはありません。また、この研究の結果は専門の学会や学術雑誌に発表されることがありますが、対象者のプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報(氏名など)が外部に公表されることは一切ありません。もし、下記の疫学研究にご自身の臨床情報を使用されることに同意されない方は、下記連絡先にご連絡くだされば、解析対象から除外させていただきます。同意されない場合でも、診療上であなたが不利益を被ることは一切ありません。また下記研究に関して、ご不明な点がございましたら、いつでも下記連絡先にお問い合わせください。

<概要>

- 研究課題名：「血液培養から検出されたグラム陰性球菌における臨床的意義についての検討」
- 研究期間：臨床研究審査委員会承認日～西暦2023年3月31日までを予定しています。
- 対象：2016年5月1日～2022年4月30日に兵庫県立尼崎総合医療センターの小児科を受診し、血液培養が提出された18歳未満の外来患者。
- 研究目的：こどもの血液培養からグラム陰性球菌が分離される頻度は少なく、分離された細菌が汚染の可能性が高いのか、真の感染の可能性が高いのか、真の感染症であればどのような細菌が原因となり、どのような感染症に続発するかなど、わかっていないことが多いのが現状です。過去に小児の血液培養から検出されたグラム陰性球菌について検討された報告はないため、本研究では当院での陽性例を解析し、臨床的意義を明らかにすることにより、今後、血液培養からグラム陰性球菌が検出された際の参考にすることを目的としています。
- 方法：電子カルテを用いて、生年月日、性別、血液培養検査が提出された日、血液培養検査で検出された細菌を調査します。また、血液培養でグラム陰性球菌が検出されていた症例については、追加の情報として、病名、臨床経過、血液培養採取日に検査されたC-reactive proteinの値、血液培養採取日に検査されたウイルス迅速抗原検査の結果についても抽出します。
- 個人情報：臨床情報は匿名化され、個人が特定できないようにして、必要な臨床データのみを収集して解析を行います。そのため、本研究に協力していただく患者さんに不利益が生じることはないと考えています。しかし、そうであっても臨床情報を本研究のために使用されたくない方は、ご連絡いただければ解析対象から除外します。

問い合わせ先：兵庫県立尼崎総合医療センター 小児科

〒660-8550 兵庫県尼崎市東難波町2-17-77

TEL：06-6480-7000 FAX：06-6480-7721

MAIL：stone.bagle@gmail.com

研究責任者：日馬 由貴